

第6回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 平成25年8月6日（金） 15:00～17:00

【開催場所】 札幌開発建設部 4階1号会議室

【委員】 飯田 厚生（寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長）

◎ 加賀屋 誠一（室蘭工業大学 副学長）

黒木 幹男（NPO法人 環境防災研究機構北海道 専務理事）

浜本 聡（寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ長）

松本 源太郎（札幌大学女子短期大学部キャリアデザイン学科 教授）

※◎は委員長（50音順）

【議 題】

1. 規約の改正について

2. 審議

(1) 千歳川遊水地群

- ・ 工程管理について
- ・ 事業費管理について

(2) 北村遊水地

- ・ 工程管理について
- ・ 事業費管理について

3. 総評

★千歳川遊水地群

≪事業費管理について≫

- ・ 事業費内訳の変動理由について内容がわかりやすく伝わるよう整理をすすめること。

≪利活用について≫

- ・ 遊水地を活用した地域環境の再現について有識者の意見を聞きながら実施方法を具体化していくとよい。
- ・ 各遊水地の関連性や違いを提示しながら、地域住民の方と一緒に利用の仕方を考えていくべき。
- ・ 泥炭の利活用について、可能であれば側帯としての利用も考えられる。また、泥炭の農地還元については土壌を確認した上で出来る限り活用して頂きたい。
- ・ 湿地的な環境となる部分について、水質悪化、害虫発生や有害獣の生息などの抑制に配慮する管理も大切である。

《関連する留意すべき事項》

- ・遊水地事業について、周辺の地域で実施している国営農地再編整備事業との連携により、地域全体にとって相乗的な効果を発揮していただきたい。
- ・遊水地の事業実施中の効果についてもっと一般の方々に知っていただけるよう積極的に発信する努力が必要である。

★北村遊水地

《工程管理について》

- ・北村地域連携調整会議に限らず、地元地権者と議論する場等の調整方法について検討することが必要である。

《関連する留意すべき事項》

- ・営農者の移転先や、住宅跡地の土地の利用方法も個人に任せるだけでなく調整方法を検討する必要がある。
- ・家屋、農業用施設等の農地として利用していない土地が転々とあるので、一体的に農用地として活用することが、地域の農業振興として非常に重要なポイントとなる。
- ・農家の移転は単なる住宅の移転ではなく農業経営に直結するので、重大な問題であるという認識に立って事業主体として丁寧に細かく対応する必要がある。